

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

87年夏季物品販売運動、組合員・全国の仲間の力で大成功！ 物販を軸に事業部の前進を！

日刊 動労千葉

87. 9. 26
No. 2663

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

全国にさらに支援の輪を拡大し 冬季物販の大成功をかちとろう

組合員の皆さん！ 全国の支援者の皆さん！ 八七年夏季物販運動におきましては、皆様方の絶大なご協力をいただき本当にありがとうございます。おかげさまで当初の目標をほぼ達成することができました。心から御礼申しあげます。
なお、ご意見やご希望等を遠慮なくお寄せくださいますようお願いいたします。

物販オルグで 全国の仲間と交流深める

五月半ばから全国オルグが始まり、約二ヶ月間に大半の事業部員がオルグ団に参加し、北は北海道から南は九州まで労働組合をたずね、物販のとりくみを訴えてまいりました。猛暑の中、雨の中、風の中、オルグ団の足だけが物販運動の広がりにつながるといふ信念で回りきつたことが、今季の実績に結びついたと確信しております。
その中で暖かい言葉をかけられて感激したり、奮闘する労働者を激励したり、短い時間ですがオルグ団は全国の仲間達と交流を深めてきました。

全国の仲間の期待を集めて

国鉄分割・民営化反対の動労千葉の二波のストライキは労働組合・労働者として全く正義のたたかいであり、当然のことです。当局が法律や慣例を無視し、問答無用で二十八名の解雇を強行してきたことは、全く不当極まることではありません。

一方で政府・権力側の横暴がまかり通り、他方では動労革マルが当局の手先となり、また国労が無方針のままに後退、分裂し、ついに無力となっていく。全国の仲間達は、資本の手先や警察が労働者や農民の自由な行動から息づかいまでも弾圧してきていることに怒りをたぎらせています。だから、動労千葉の労働者魂に心うたれ、熱い連帯と支援をよせているのです。

資本・当局への怒りを 事業部運動の成功に結びつけよう

私達は、不当解雇の攻撃にたいして、でたらめ極まりない解雇を撤回させ、原職復帰をかちとるまでたたかいぬく決意をうち固めて、新たなたたかいへと出発しました。自らを争議団として、位置づけ、事業部を設立しました。いうまでもなく、解雇者の自主的な財政基盤の確立をかちとるため

の重要な闘いであり、敵は糧道を断って解雇者の団結にヒビを入れ、ついには雲散霧消させることをねらってきているからです。

私達の大先輩である全金本山労組は二名の組合員の解雇に反対し、全員がロックアウトをうけながら、物販運動、アルバイトで生活を維持しつつ、十七年間団結を維持してたたかいぬき、今や資本を追いつめるに至っています。この実に偉大な勝利の地平が私達をたえず叱咤激励しています。私達も解雇者を先頭に全組合員がハラを固めて闘えば、いかなる敵の攻撃をもち破ることができると確信しています。全金本山労組が証明しているように、事業部運動の成功に動労千葉の未来がかかっていると、言っても過言ではありません。中でも物販運動は事業部の軸であります。組織の団結を強化し、地域の労働者との連帯をかちとり、全国にさらに支援の輪を拡大していくためにも、物販運動を展開していきたいと思えます。協販部は、九月に入り、夏季物販の整理に全力でとりくむとともに、冬季物販の準備にも入りましました。十月から冬季物販オルグが開始されます。皆様方にはますます多忙をさわめると存じますが、どうかさらなるご支援ご協力を心からお願ひ申し上げます。



夏季で扱った「ワタの木」もきれいな黄色の花を咲かせ、今は真白なワタの実がなっています。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！